



GIGAスクールが開始された学校の様子

- ①伊香保小学校
「電子黒板に端末をつないで外国語発表」
- ②長尾小学校
「電子黒板を使った国語の授業」
- ③橘小学校
「タブレット端末を使った話し合い学習」
- ④中郷小学校
「植物の成長を端末で撮影・記録」
- ⑤伊香保中学校
「Google Meetを使った班別学習」
- ⑥渋川中学校
「タブレット端末で各自の意見を反映」
- ⑦古巻中学校
「教員向け研修会の様子」



グローバル アンド イノベーション ゲートウェイ フォーオール
※GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略称です

GIGAスクール推進室について

GIGAスクール推進室では、高速インターネット回線・タブレット端末・大型電子黒板などを効果的に活用して、GIGAスクール構想が実現できるように、さまざまな支援を行っています。より充実した新しい学びが実現できるように、環境整備(タブレット端末等のトラブル対応やメンテナンス、ソフトウェアやシステムの更新・管理、ヘルプデスクなど)や職員研修(タブレット端末の活用方法、ソフトウェアの利用方法、システム運用方法など)を行っています。

市ICT教育アドバイザー 上原 永護さん



②充電保管庫

有害なサイトを閲覧できないよう、セキュリティ対策をしています。

教室などに設置されていて、たくさんの端末を保管し、一晩かけて順々に充電します。



①タブレット端末

導入された機器の紹介

防じん・防滴 耐衝撃など耐久性が高い端末です。専用ソフトウェアを使用し、学年に応じた学習ができます。



④大型電子黒板

タブレット端末などを接続し、端末上の資料や写真を映し出すことができます。大型電子黒板に映し出されたグラフや写真には、指などで自在に文字やマークを描くことができ、視覚に訴えた説明が可能になります。



③アクセスポイント

タブレット端末で通信ネットワークに無線接続するための機器です。教室や廊下などに設置され、通信が届く範囲であれば、どこでもインターネットを利用できます。

GIGAスクール構想とは？

GIGAスクール構想は、児童生徒に1人1台の学習用端末と、学校内における高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を一体的に行うための文部科学省の計画です。通信ネットワーク環境の活用により、「一人一人の理解状況や能力、適性に合わせて個別に最適化され、創造性を育む教育を実現すること」を目的としています。

GIGA(※)には、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められています。文部科学省の発表当初は、令和5年度までに整備を行う5年間の取り組みが計画されましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大と新しい生活様式への対応を受けて、全国

インターネットを活用した学習環境が
市内小中学校に整備されました

市は、文部科学省のGIGAスクール構想を受け、市内全ての小中学校で、児童生徒が1人1台のタブレット端末を使用して学習できる環境の整備を進めてきました。令和3年6月には、市内全校にタブレット端末の導入が完了し、本格運用が始まりましたので、GIGAスクール構想の概要と市の取り組み、各学校での活用について紹介します。

詳しくは、GIGAスクール推進室(学校教育課内)☎2121へ。

的に大幅に前倒しして整備が進められました。

渋川市の取り組み

- ＜これまでの流れ＞
- 令和元年度Ⅱ小学校14校の特別教室を含む全教室に大型電子黒板233台を設置
- 令和2年10月Ⅱ中学校9校に大型電子黒板150台を設置、オンライン家庭学習環境整備事業を開始
- 令和3年4月Ⅱ学校教育課内にタブレット端末の有効活用を支援するGIGAスクール推進室を設置(ICT教育アドバイザー・ICT教育推進員を配置)
- 令和3年6月Ⅱ1人1台端末(5641台)の導入が完了
- 教職員を対象としたタブレット端末学習ソフトの利用研修会を実施

小中学生のオンライン家庭学習を支援します

市は、インターネット環境のない家庭に対し、下記の支援を行っています。

詳しくは、[■学校教育課](#)（☎2121）へ。

〈オンライン家庭学習環境整備補助金〉

内容 通信環境整備にかかる初期整備費を補助

対象 次の①～③の要件を全て満たす世帯

①市内小中学校に在籍する児童生徒がいる

②令和3年4月1日～12月31日(金)に、インターネット提供会社と新規契約し、工事を完了した

③通信容量無制限、通信速度常時1Mbps以上の契約である

※上記以外にも要件があります

対象経費 通信環境整備にかかる契約料や工事費

補助額 1世帯当たり上限1万円

その他 申請方法など

詳細は、市ホームページを確認するか、学校教育課に問い合わせ

ください

〈長期休校時モバイルルーター貸し出し〉

内容 新型コロナウイルスなどの影響による長期休校時に、インターネット環境がない家庭に一時的にモバイルルーターを貸し出します



市ホームページはこちら

タブレット活用で学ぶ楽しさを味わおう



教育長
中沢 守

タブレットを手にした輝く瞳の子どもたちを見ると、嬉しくなります。今は、目新しさに興味を示している段階かと思いますが、さまざまな機能を使えるようになると、新しい学びの方法に自らの可能性を見いだすことができるようになると思います。

「不易」と「流行」という言葉がありますが、未来を生きる子どもたちに身に付けさせたい力には、社会の変化に対応する力や、どのように社会が変わろうとも確実に身に付けなければならない、人格の完成につながる力などがあります。急激に進化していく情報化社会の中でも思う存分力を発揮できるよう、情報活用能力を身に付け、学びの本質に関わる楽しさや人との関わりの楽しさを味わい、将来につながる貴重な体験をたくさんして欲しいと思っています。

子どもの主体性が育まれていると感じます

学習意欲が高まるのは、本当に大きな効果だと思います。今までの授業では集中するのが苦手だった児童も、タブレットを使うことで興味を持ち、楽しんで学習できています。また、言葉で発表するよりハードルが低いので、意見を出しやすく全員参加型の授業ができています。採点やノートの確認など時間がかかっていた部分が、手元ですぐに把握や集計できるのも、教員としてはうれしいですね。

場所も時間も選ばず使えるので、調べ学習でも重宝しています。子どもたちが気なることを自ら調べるようになってきていて、今までの教育より主体性が育まれていると感じます。現段階では楽しく慣れてもらえればいいと思いますが、子どもたちの興味が「楽しい」から「便利だな」になって、先生・児童と一緒に学びの場を作っていけたらと思います。



橘小学校 教諭
早川 香織さん

今後の活用方法と目的

子どもたち一人一人に合った学びの提供

子どもたちに1人1台のタブレット端末が導入されたことで、一人一人に合った教材などを提供できるため、児童生徒ごとの学習状況に合わせた学びが可能になりました。また、学校での利用だけでなく、各家庭のインターネット環境が広く普及している現在は、災害や新型コロナウイルス等の感染症の影響による臨時休業時などでも、インターネット通信を通して学びの提供が行えます。今後は、授業や家庭学習でのタブ

レット端末などの活用を進め、より質の高い教育を実現します。先生と子ども・子ども同士などで、互いの意見をより伝えやすく導入されたタブレット端末では、先生や子どもがお互いの意見をすぐに共有でき、今まで以上に活発な意見交換ができる教材も提供されます。今までは手を挙げた子どもが意見を発表していたため、自ら表現できない子どもがいましたが、今回提供している教材では、全ての子どもたちの意見が共有される仕組みもあり、よりさまざまな意見が表現されます。今後は、より効果的な活用を進め、子どもたちがさまざまな意見に触れ、創造性を育む教育を実現します。

学校の取り組み

学習ドリルソフトを活用



三原田小学校

タブレット端末には、子どもたち一人一人に合ったレベルやペースで学習ができる個別学習ドリルが導入されています。正解すると得点が貯まり、楽しみながら勉強できるため、子どもたちの学習意欲を高めます。

〔大型電子黒板に意見を集約〕



金島中学校

タブレット端末に入力した意見が大型電子黒板に集約され、他の生徒

の意見がすぐに分かります。今まで以上にさまざまな意見に触れることができ、授業の効率も上がります。

〔体の動きを撮影して比較〕



北橋中学校

保健体育の授業で、見本となる動画や撮影した自分の動きを視聴することにより、体の動きを確認することができ、良い点や修正点が分かります。

〔理科の実験を動画で確認〕



赤城北中学校

理科の授業では、実験の様子などを動画で確認することで、理解を深めることができます。

新しい発見があり、便利で楽しいです



波川北中学校2年
小池 姫菜さん

画面を活用したプレゼンテーションやリモートでの意見交流などをしました。問題を解くときに苦手分野を分析して一人一人に適した出題をしてくれる機能もあって、勉強しやすいです。タブレットや電子黒板では、文字の色や線の太さを簡単に換えられるので、手書きより見やすいと思います。気になることもすぐに調べられて、ノートと違った楽しみ方や新しい発見があり、便利で楽しいです。

自宅でも自分の課題点を調べながら何度も勉強したり、宿題を送信したりできると思うので、これからの活用が楽しみです。



ノートに書くよりきれいで読みやすい



古巻小学校6年
保科 夕陽さん

総合の授業でSDGsについて動画を見て調べたり、クラスで先生がクイズを送ってくれて、グループで考えたりしました。また、図工では、みんなの作品の写真と説明文を画面で見ることができて、あまり話したことのない友だちのことも、良いところを知るきっかけになりました。鉛筆だと書くのも消すのも力が入って、ノートが汚れたり字が読めないときがあるけれど、タブレットはきれいに書いて見やすいし、後で字が読めなくなることがなくなりました。

友だちとリモートで話したり、学校に行かない日もタブレットを活用して勉強したりできたらいいなと思います。

